

新入荷商品のご紹介



西陣 袋帯
 上質な糸を使って織り上げられた振袖から、訪問着まで
 礼装にはもってこいの逸品です。
 242000円



kimono cafe 伊達締め
 かわいらしいチドリの柄を配した使い心地のよい正絹の伊達
 締めです。
 24000円



舟形 下駄
 シンプルなデザインでこれからの時期から夏に向けて
 コーディネイトのしやすさが売ります。

19360円



印伝 しらべ スマホポシェット
 フランスでは大切な人に贈る花 鈴蘭をモチーフにした『しら
 べ』シリーズのスマホポシェットです。
 20350円

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

きもの新聞 2023年3月号

ごあいさつ



お散歩の気持ちいい季節になってきました。最近、家の近くの橋がかかって、もう少しで開通
 するのですが、その橋を横目にお散歩しています。また、近くの山が削られ大きな工場が近く
 にできるようで、少しずつ変化していく街と少しずつ変化する季節を楽しみながら、歩くのは
 気持ちがいいものです。

4月の連休

4月4日(火) 5日(水)
 4月18日(火) 19日(水)

特集 久米島紬の魅力



新型コロナウイルスがまん延してからと
 いうもの、中々着物の産地にもいけてな
 かったですが、今年の5月から2類から5
 類に変更になることから少し産地にも出か
 けやすくなるように思います。数々の素晴
 らしい産地がありますが、是非とも一度は
 行ってみたい産地があります。それは久米
 島紬の産地久米島です。久米島紬は15世
 紀後半に堂の比屋という人物が、中国から
 養蚕を学びを広めたことから始まったとい
 われています。日本の紬や絹はここから始
 まったといわれ、沖縄本土、奄美大島を通
 じて本土に広まって行きました。つまり日
 本の紬の原点ともいえる地です。久米島紬
 は、蚕から取った真綿でつむいだ糸を原料
 系として、天然の草木、泥染めによって染
 色します。織りは、手投杼を用いて丹念に
 手織りで織り上げます。これらのすべては
 伝統を踏襲し、一貫した手作業を一人の織
 子が行うところにあります。

久米島紬の風合いは、ほっこりとやわらかく、織子さんのぬくもりが伝わってくるようなやさしい肌触りが
 特徴です。是非ご覧になってみて下さい。

SNSで情報発信中!

かわちやの新着商品や産地のこ
 ものづくりの話、竹次郎カフェの
 開催日など SNS でも発信しています。

フェイスブック



kawachiya888

インスタグラム



kachuan888



呉服の河内屋

〒444-0521

愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子 62

<https://www.gofuku-kawachiya.co.jp>

メール info@gofuku-kawachiya.co.jp

tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539